

2019年8月16日

■ 取材のご案内 ■

厚生労働省委託事業

国連が「2050年にはAMR（薬剤耐性）で
年1000万人が死亡する事態」と警告

AMR対策臨床セミナー 旭川

日 時 ■ **2019年8月24日（土） 15:00 開演**
（開場 14:30 終了 18:00） ※途中入退出可
会 場 ■ 旭川市大雪クリスタルホール 国際会議場 2F レセプション室

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院
AMR臨床リファレンスセンター

薬剤耐性の問題は、世界で取り組むべき大きな課題となっています。日本でもさまざまな取り組みが始まっており、AMR臨床リファレンスセンターでは「薬剤耐性（AMR）対策アクションプラン」に掲げられた目標のひとつとして、感染症が専門ではない医師、医療従事者を対象に「AMR対策臨床セミナー」を各地で開催しています。なお旭川での開催は今回が初めてとなります。

今回のセミナーでは、日本のAMRの問題とその現状を知っていただき、抗菌薬の適正使用、薬剤耐性菌に対する感染対策などを解説いたします。この時宜に報道関係のみなさまにもご取材をいただき、メディアを通じて広く「薬剤耐性」の問題を知る機会をつくっていただければ幸いです。

ご多忙とは存じますが、ぜひご来場を賜りますようお願い申し上げます。

AMR対策の必要性 ～抗菌薬（抗生物質）は不適切な使用により、本当に必要な時に効果が低くなる～

抗菌薬（抗生物質）は細菌が増えるのを抑えたり、殺したりする薬です。しかし、細菌もさまざまな手段を使って生き延びようとします。本来ならば効くはずの薬が効かなくなること、**「薬剤耐性（AMR: Antimicrobial resistance）」**とといいます。2019年4月29日、国連は抗生物質が効きにくい薬剤耐性菌が世界的に増加し、**危機的状況にあるとして各国に対策を勧告**しています。日本では、外来での抗菌薬使用が9割以上を占めており、外来診療で抗菌薬の適正使用を推進することが不可欠といえます。

* <https://news.un.org/en/story/2019/04/1037471>
No Time to Wait: Securing the future from drug-resistant infections
Report to the Secretary-General of the United Nations April 2019

薬剤耐性（AMR）情報サイト



返信先 ▶ AMRCRC広報事務局
共同ピーアール株式会社 PRアカウント本部4部 高橋(速)宛

FAX返信番号 ▶ 03-3571-5380

厚生労働省委託事業

AMR対策臨床セミナー in 旭川

日時 ■ 2019年8月24日(土) 15:00開演 (開場 14:30 終了 18:00)
会場 ■ 旭川市大雪クリスタルホール 国際会議場 2F レセプション室

講演プログラム

「薬剤耐性(AMR)の現状」 15:00~16:00

具 芳明 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター 情報・教育支援室長

「抗菌薬の適正使用」 16:00~17:00

児玉 文宏 市立札幌病院 感染症内科 副医長

「感染対策」 17:00~18:00

桐 則行 市立旭川病院 医療安全管理課 感染対策室 感染管理認定看護師

▼該当する欄に印をつけ、必要事項をご記入の上、8月22日(木)までにご返信ください。

| | | |
|--------|-------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| ご出欠 | <input type="checkbox"/> ご出席 | <input type="checkbox"/> ご欠席 |
| 貴社名 | | |
| 貴メディア名 | | |
| 貴部署名 | 他 名 | |
| ご芳名 | <input type="checkbox"/> スチール | <input type="checkbox"/> ムービー <input type="checkbox"/> 無し |
| 撮影機材 | TEL e-mail | FAX |
| ご連絡先 | | |
| ご要望等 | | |

会場

旭川市大雪クリスタルホール
国際会議場 2Fレセプション室
北海道旭川市神楽3条7丁目
TEL:0166-69-2000

アクセス

JR旭川駅南口西側出入口から徒歩10分

